

重心ネットワーク 部会年間報告

令和5年度 都筑区自立支援協議会

幹事紹介

- ・ 横浜市多機能型拠点つづきの家相談支援センター 部会長 平野氏
- ・ // つづきワイワイ広場 横瀬氏
- ・ // 横浜障がい者サポートセンターぽれぽれ 宮田氏
- ・ 都筑区医師会訪問看護ステーション 宮島氏、小野氏
- ・ 北綱島特別支援学校 宇多氏
- ・ 若葉台特別支援学校 平賀氏
- ・ 横浜医療福祉センター港南 大矢氏
- ・ 都筑区福祉保健センター 矢口氏、佐藤氏
- ・ 都筑区基幹相談支援センターくさぶえ 吉濱氏、八木澤氏



重心ネットワーク部会設立の目的

- ひとつの機関での解決が難しく、横断的であり地域課題的なものも多い重心児者の課題について、関係機関同士が相談や情報共有ができるように顔の見える関係、ネットワークづくりをする

今年度の取り組み

地域課題から抽出したテーマ 「防災について」

災害弱者である重心の方への支援等、自分たちが出来る事を検討していきたい

～まずは情報収集から～

- ・ 全国の取り組み・横浜市の取り組みはどうなっている？
- ・ 地域に合った取り組みが大事

★横浜市のパンフレットは種類が多く
情報整理が大事と認識

防災について ～都筑区の取り組みについて紹介～

開催日時：令和5年11月29日(水) 10:00～12:00

会場：都筑区役所 6階大会議室

参加者：27名

第一部 都筑区の取り組みについて

都筑区総務課 危機管理・地域防災担当 中村係長

都筑区福祉保健センター 高齢・障害支援課 高齢・障害課 吉田係長

都筑区福祉保健センター 福祉保健課・事業企画担当 林係長

第二部 グループワーク

聞いてよかった事・もっと知りたい事の共有

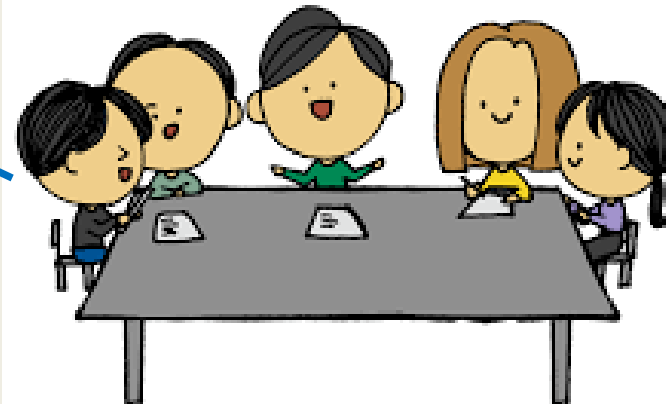
都筑区のハザードマップを見てみよう

災害の備えを本人・家族と考えていくために・これから取り組みたいこと

講演会を振り返って

都筑区の取り組みを各係長さんから聞いた事がとてもよかった。

福祉避難所の想定受け入れ想定人数が要支援名簿者の1割程度と知って驚いた！



ハザードマップを実際に広げるきっかけになって良かった

他事業所の人と顔見知りになれてよかった

都筑区は若い世帯が多いが近所や自治会と繋がりにくい事も分かった

避難前提ではなく、自宅避難・災害時の支援体制の構築が必要

来年度に向けて

今年度：災害時の対応について現状を知り情報を整理

来年度以降：重心の方・ご家族への具体的な情報発信
について検討できれば・・・

例えば・・・災害時の対応について
安否確認の方法・支援体制・行政との連携体制
地域の中での共助体制 など





部会の課題認識の変化

についても少しご報告を

平成28年部会立ち上げ当初

重症心身しょうがい児者の生活には多職種の支援が必要。

しかし、支援者同士が繋がる場・機会が少ない

社会資源がとても少ない、地域の中に支援体制を作りたい！
広げたい！

現在

支援者同士の連携する機会は増えてきている。さらに深めていく必要がある

- ❖ 高齢施設で重心の方の短期利用を継続して対応されている
- ❖ 支援者のネットワーク構築と啓発
- ❖ 重心の方との出会い・関係性が鍵